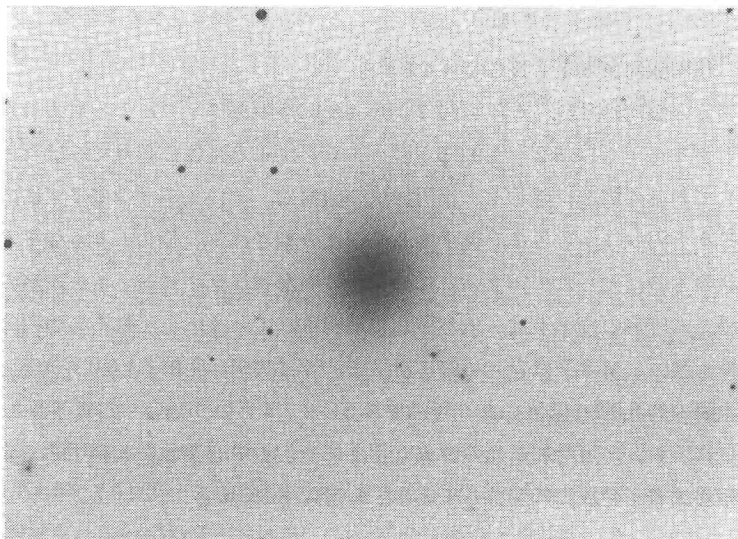


廣報

東京大学理学部

楯岡銀河 M87



目次

日光で暮して.....	大場秀章.....	2
霜田光一教授に学士院賞.....	清水忠雄.....	3
<学部消息>.....		3

《スペクトル》

楕円銀河 M 87

楕円銀河M 87 (NGC 4486)

明るい銀河はCh. メシエ(1730-1817)のカタログによるM番号か, J. ドライヤー(1852-1926)のカタログによるNGC番号で呼ばれる。一見して内部の構造に乏しく, 楕円形状の銀河は, その見かけの偏平率に応じて, E0(円状)からE7(偏平率0.7)に分類される。E7よりも偏平な楕円形状のものは知られていない。この見かけの形状がラグビー・ボール形の投影か, 湯たんぼ形の投影かは, 依然として解明されていない。三軸不等楕円体の可能性も強い。M 87はおとめ座にあって, 9.2等級, 距離4100万光年, 質量は太陽の約8,000億倍。カタログ番号3C 274という強い宇宙電波源として知られており, 短時間露光の写真(下)に見える中心部分からの「ジェット」が, 相対論電子の放出に関与している。(MW & KK)